

## タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2017 助成の概要と推薦理由

助成番号 17-2-3

プロジェクト名 病気の子どものきょうだい支援を広げるためのシブリングサポーター養成事業（2）  
団体名 特定非営利活動法人しぶたね  
代表者名 清田 悠代  
所在地 大阪府  
助成額 224万円  
助成期間 2018年4月1日～2019年3月31日  
設立年 2003年  
URL <http://sibutane.com/>



重い病気をもつ子どもの家庭では、きょうだいにも負担がかかることが多いが、気づかれにくい。きょうだいは、淋しさや不安、無理に頑張ろうとする気持ちなどから心身への変調や、成長後も生きづらさを抱えたりすることがあると言われている。このようなきょうだいの気持ちに気づいて成長を支える場は、日本には未だ数えるほどしかなく、サポートできる支援者も限られている。

この団体は大阪を拠点に、そのような病気の子どものきょうだいを支援するとともに、きょうだいがかかっている現状を伝え、支援の輪を広げる活動に取り組んでいる。

前回の助成では、きょうだいの支援者（シブリングサポーター）を増やすために、全国8か所で一般支援者向けや病院等支援者向けの研修会を実施した。また研修を修了した支援者がつながる場として、年1回の「シブリングサポーターミーティング」を立ち上げるなど、意欲的な取り組みを通じて支援者育成とともにネットワークを拡大した。

今回の助成では、引き続き「シブリングサポーター研修ワークショップ」と「第2回シブリングサポーターミーティング」に取り組む。また新たに「きょうだい支援リーダー会議」を立ち上げ、各分野のリーダーが集まり情報交換することで、現在の日本のきょうだい支援の到達点と今後進むべき方向性を確認し、きょうだい支援の広がりへの促進を目指す。

本団体は、きょうだい支援の現場で地道に活動を続ける傍ら、きょうだい支援の輪を広げる活動にも積極的に取り組み、幅広いネットワークも持つなど、この間の実績は高く評価される。本助成を通じて、シブリングサポーター養成の仕組みが確立し支援者が増加することで、各地のきょうだい支援の受け皿づくりにつながることで、「シブリングサポーターミーティング」の定期開催が定着し、支援者の全国ネットワークの基礎作りが進むこと、「きょうだい支援リーダー会議」の立ち上げにより国内のきょうだい支援の現状を明らかにし、今後の支援の広がりにつながることを期待して助成する。